

～活動の報告と計画～

予算対策委員会

委員長 中里保育園 青野貴芳

昨年度は、県内の事件・事故に揺れた一年でした。保育施設で問題が起こるたびに、制度の不備が指摘されてきましたが、昨年度は、こうした声が、メディアなどでとりわけ大きく取り上げられました。このような制度の不備は、財源不足を理由に、年中行事のように棚上げされ続けてきましたが、その結果、劣悪な人的環境が数十年に渡り放置され続けることになってしまいました。

ようやく国は配置基準を改善する方向で検討を始めましたが、依然として十分なものではありません。保育連合会は、特に配置基準の改善に重点を置き、次の八項目を静岡県に対して要望します。

①職員配置基準について、特に、(1)四・五歳児の配置基準(2)乳幼児保育事業の充実に ついて(3)開所時間や利用児童数に対する配置基準(4)調理員の配置基準(5)延長保育事業への補助について(6)「気になる子」の増加、の観点から改善を要求します。②キャリアアップ研修受講定員数の増加について要望します。③園児数の減少、定員割れへの対応について要望します。④物価高騰への対応について要望します。⑤保育士確保及び定着促進のための環境改善支援策を要望します。⑥年度途中入

所サポート事業の継続について要望します。
⑦南海トラフ地震等大震災に対する安心・安全な施設の充実が図られるよう要望します。
⑧産休等代替職員雇上事業の補助基準額の増額について要望します。
加えて、保育三団体の予算対策活動に参画し、国に対して要望をしています。

研修委員会

委員長 桜木こどもの森 岡田博次

今年度は感染症への対応がようやく変化したことで「学び」と「交流」のできる参集型の研修会を中心に計画することができました。コロナ禍で培った力も活かしつつ、引き続き保育の質の向上に寄与するべく進めて参りますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

新採研修(五月)では、約八十名の参加者が、保育士(所)の使命と役割、SNS利用時の倫理的判断、接遇等について学びました。所長研修会には、馬場耕一郎氏(こども家庭庁教育・保育専門官)をお招きし、子どもの安心安全を守るための取り組みと令和五年四月に発足されたこども家庭庁についてご講義いただきました。
今年度内に計画されている研修会は次の通りです。

- 育児相談研修会(十一月一日)
- 民間園長研修会(十一月二十・二十一日)
- 施設長研修会(十二月十九日)
- 新規採用予定職員研修会(二月)

キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

令和五年度より、処遇改善加算Ⅱの認定に当たり、副主任・専門リーダー等の加算対象職員が要件を満たす研修を一定時間以上受講していることが段階的に必要になり、保育士等キャリアアップ研修への申し込みも増加することが見込まれますが、受講定員にも限りがあり希望通りにはいかないのが現状です。今後も県担当課と検討を進めていきます。

また、今年度より、認定こども園(全類型)においては、静岡県保育連合会及び静岡県保育士会(全国保育士会・地区保育士会含む)の自主研修が静岡県の認定を受け処遇改善等加算Ⅱの研修要件に該当する研修となりました。各施設におかれましてはそれぞれの状況に合わせ、要件に必要な研修受講を進めていただけますようお願いいたします。
今後も質の高い研修の提供ができるよう協議をまいりますので、会員の皆さまには重ねてご理解とご協力をお願いいたします。

海外交流委員会

一番町保育園 海野美代子

感染対策も緩和され、今年は国内ではあります。海を越えて北海道へ視察研修に行っていました。以前、ズームによる施設長研修会でお世話になった、安平町にあるはやきた学園長の井内先生が、視察の受け入れを調整してくださいました。はやきた子ども園は学校法人リズム学園と安平町により運営される公私連携施設保連携型の施設です。また、道路を隔てた向かいに小中一貫義務教育校があります。それぞれICTによる管理が行き届いていて、学校で利用しない施設を町民が利用したり共有したり、こども園も学童・子育て広場・保護者が利用共有していました。管理はICTですが、保育・教育には子どもの育ちとかかわる環境、関わる人々について考えられたものでした。子ども園には、保育だけでなく、園内環境を整えるプロ、アトリエを担当するデザイナーなど、あこがれる姿がありました。長い？と思われる二日間の視察でしたが、あつという間の視察となりました。もちろんこの後観光も楽しみました。

この視察研修で大切にされているところは、保育の場を視察するとともに、その国の教育にかかわる行政との話し合いが中心にあります。お国柄を知り理解するには、その

国の人と出会い、生活を知り、空気感を感じること大切な研修です。世界各地での感染が収まり、従事されている方、病の後遺症にいらっしゃる方が癒され、訪問がかなうことを祈るばかりです。

少子化対策委員会

一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費（一事業五万円）を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としています。各支部三事業（十五万円）の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。

啓発品については「あいあいホットマーク」のクリアファイル（こちらは、保護者の皆さんへの年度当初の書類配布や、入園案内などに添えてお渡しするなど活用していただいています。）その他、ピンバッチ、付箋セットがあります。啓発活動の助成が幅広く行えますよう、皆様のご協力を宜しく願います。

青年部会

部会長 すみれ認定こども園 後藤恭佑

もうそろそろ研修会やイベントも普通の状態に戻りつつありますが、新たにリモート等の方法も知り、益々青年部会の活動も活発になっていきます。幼児教育、人材確保、待機児童問題等々、問題は山積みですが、アンテナを張り情報過多の時代でも何が大事でどんなことが起きているのかを敏感にとらえ、皆さんと共有できればと思っています。青年部会は「サードプレイス」第三の場所ということをテーマに様々な取り組みや交流をしていきます。実行可能な組織として、引き続き会員の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

実績報告

六月二十八日

○令和五年度 青年部全体集会

七月十三日

○令和五年度 青年部公開保育（東部支部）

